

はじめに

名古屋大学経済学部の前身にあたる名古屋高等商業学校（名高商）は、産業経営をになう人材を養成するため、一九二〇（大正九）年に設置されました。全国で六番めの官立高等商業学校です。その後、戦時下の一九四四（昭和一九）年に名古屋工業経営専門学校と名古屋経済専門学校（名経専）に改組、戦後の四六年には名経専に統一され、最後は新制名古屋大学に包括される形となって、一九五一年に廃止されました。

その約三〇年間は、所在地の名古屋市でいえば、日本屈指の産業都市としての地位を確立して一つの絶頂期をむかえながら、戦争によって一度は壊滅し、さらに復興へという歴史の中にありました。また学校としては、戦争とファシズムによる制約をうけながらも、初代校長渡辺龍聖が確立した特色ある教育と校風を誇った三〇年でもあります。

本書は、この名高商の、創設経緯から廃止に至るまでの歴史を分かりやすく紹介するものです。